**８　茨城**

**平成２９年度　全高長・教育課程研究委員会資料**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **先進的あるいは特色ある教育課程** | **学校名等** | **課程** |
| **「アクティブ・ラーニング」** | **茨城県立並木中等教育学校** | **全日制普通科（中高一貫校）** |

**ア　実施状況について**

**①　教育課程**

（教育課程編成）

　・本校は，開校１０年目の中等教育学校である。各年次４クラス，計２４クラスの学校である。

・本校では，平成２７年度より「アクティブ・ラーニング（主体的・対話的で深い学び，以下ＡＬ）」を推進しており，今年度は，「ＡＬサードステージ」に入っている。

・ＡＬの目的は「アクティブラーナー（能動的学習者）」の育成であり，今年度は特に「論理力」の育成を目標として，ＡＬを学力向上につなげる努力をしている。

・ＡＬを「深い学び」に深化させるために，学年縦割りの学習である「ＴＯ学習」を平成２９年１月より始めた。ＴＯとは「Teaching Others（他の人に教える）」の頭文字である。

（授業展開）

　・校長が平成２８年３月に考案した「ＡＬ指数」を意識して授業が実施されている。「ＡＬ指数」とは，ＡＬの実施率を示す指数で，５０分授業でＡＬ１０分なら「ＡＬ２０」となる。

・「ペアワーク」「グループワーク」の他，ＩＣＴ活用のＡＬも日常的に展開されている。

**②　教員の指導力向上**

（教員研修）（ＡＬに関する研修会）

　・平成２７年１２月に「（株）学び」の寺裏誠司氏を講師としてＡＬ教員研修会を実施した。

　・平成２８年４・５・１１月，平成２９年４月に校長が講師となりＡＬミニ研修会を実施した。

　・東京で開催されるＡＬ関係の各種セミナーに参加するように勧めている。

（外部人材の活用）

　・平成２８年５月１１日に「（株）アクティブラーニング」の得能絵理子氏，平成２９年５月１１日に「コスモボックス（株）」の古新舜氏による全校生徒向けのＡＬ講演会を実施した。

**③　校内組織**

　・校務分掌の１つである「学習進路部」にＡＬ推進担当者がいる。

　・毎月実施している「授業ちょっと見週間」で相互授業公開を実施している。

　・各自年間１回以上「ＡＬ型授業」を事前通告して公開することになっている。

**④　施設設備**

　・全教室にパソコン・プロジェクター・スクリーン・Ｗｉ-Ｆｉ・ミラーリングを整備済み。

・生徒用にｉＰａｄ（８０台）とＷｉｎｄｏｗｓタブレット（４０台）がある。

・平成２８年５月，「タイムマネジメント」を円滑に行うために，全教室に「ＡＬタイマー（ＳＵＺＵＫＩスクールタイマー）」を配備した。また，全教室の後方に「電波時計」を追加した。

**⑤　取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法**

　・平成２７年１２月１８日，平成２８年１１月１１日にＡＬの公開授業を実施した。

　・平成２９年１１月３０日にＡＬおよびＩＣＴ活用の公開授業を実施する予定である。

　・県内・県外・国外からの学校訪問の際にＡＬ型授業も見学してもらっている。

　・校長が各種研修会・セミナーでＡＬについて講義・解説し，ＡＬを広める努力をしている。

　・学校ＨＰ上の「ＡＬ宝箱」，校長通信「並木ドリーム」でＡＬに関する情報を配信している。

**⑥　その他**

　・平成２８年５月，ＡＬを学力向上につなげるために校長が「Ｒ８０」を考案した。「Ｒ８０」（読みはアールエイティー）とは，授業の振り返りとして各自が８０字以内の文章（２文を接続詞で結ぶ）を書くもので，思考力・判断力・表現力と「論理力」の育成を目指している。

**イ　今後の課題**

　・ＡＬが学力向上につながるということを立証していく必要がある。

　・ＡＬとＩＣＴ活用の関係について探究していく必要がある。

　・校長が考案した「ＴＯ学習」「ＡＬ指数」「Ｒ８０」について，全国に広める努力をする。

**茨城県立並木中等教育学校ホームページ　　http://www.namiki-cs.ibk.ed.jp/**